

## お　わ　り　に

交通量調査は本年度で65回目を迎えます。昭和24年（1949年）に商業経済調査の一部として始まって以来60年以上続いている伝統ある学校行事です。この行事を長きにわたり継続できることも、ひとえに地域の皆様の温かいご支援があって成り立つものです。ここに厚く御礼申し上げます。本年度は、昨年度までと同じく、新型コロナウイルス感染症の影響に細心の注意を払いながら、多くの事業所様のご協力を受けて無事に実施することができました。

本年度は、1年生238名が豊橋市内の各調査場所に分かれて調査を行いました。当日は天候に恵まれ、予定通り生徒は自分の与えられた場所で調査を行い、事故や怪我もなく順調に1日を終えることができました。調査を通して、調査場所を提供してくださる企業の方の優しさ、通行する方々から挨拶や励ましの言葉をいただき、地域の暖かさに触れました。また、調査を通して伝統行事を継承していく責任感や帰属意識も培い、有意義な校外での学習となりました。本当にありがとうございました。

本校の交通量調査は、1年生が調査を行いますが、調査を円滑に行うために、3年生の課題研究「交通量調査」班の生徒が準備を担当しました。班長を全員集めて説明会を実施し、調査後のデータ整理、交通量調査冊子編集にいたるまで全て課題研究の班員が行ってきました。また、準備や作業を通じて、自分たちが1年生の時にも同じことをして頂いていたのだと、先輩方への感謝の気持ちと伝統を継承していく使命感が増したようでした。本年度のデータも、オープンデータとして公開されます。今後、より多くの方々に本校の交通量調査のデータを活用していただきたいと思います。

愛知大学と行っている高大連携も今年で14年目を迎えました。3年生は大学で学ぶ機会をととても楽しみにし、事前にGPSとGISの違いについて学習をしました。愛知大学の先生方にも温かく迎えていただき、楽しく講義や実習を受けることができました。

3年生は、交通量調査の当日に1年生の調査場所の巡回と愛知大学の実習課題を行いました。当日は5つの班に分かれ、1年生の調査場所をまわり、各班で決めたテーマをGPSロガーで記録を取り、写真撮影をしました。後日処理されたデータをいただき、オンデマンドの授業にて実際にデータの加工法を学びました。そして、高大連携授業の最終日には、学生の研究発表会に参加させていただきました。生徒達は、質の高い発表にさすが大学生の発表だと感心し、先生が一人ひとりに行うコメントに真剣に耳を傾けていました。

最後に、大変な状況の中でも快く調査にご協力いただいた事業所の皆様、調査中に挨拶や温かい励ましの言葉をかけてくださる地域の方々、そして大学で学ぶ機会を与えていただきました愛知大学の教職員の皆様へ心より感謝と御礼を申し上げます。

## 愛知大学での授業風景

